

登録15年目までの若手会員各位

新時代を担う若手の会ニュース(第4号—2010.1.5)

呼びかけ人 中村博(東弁47期)・安若多加志(大阪47期)・長野浩三(京都47期)・豊崎寿昌(東弁48期)・久保内統(東弁52期)・氏原隆弘(東弁53期)・岩田修一(東弁57期)・加福雅和(京都57期)・吉原隆平(東弁59期)・真下美由起(東弁59期)・屋敷里絵(東弁61期)

やまもとたけじ

山本剛嗣・代表世話人に突撃インタビュー！

若手の未来は「蒼天已死」なのか？

A：年末に受験時代の仲間と飲んだのですが、就職が厳しかったり、やっと就職先を見つけても待遇が悪かったり、事務所を移るのも難しかったり、暗い話題ばかりでした。若手の未来は「蒼天已死（そうてんすでにしす）」なんでしょうか？

山本：このまま何もしないと明るい未来はないと思っています。若手の未来を明るくするために全力で取り組まなければならない課題がたくさんあります。

B：具体的にどのような課題に取り組む必要がありますか？

山本：大きな課題は「市民と弁護士との距離を縮める」ことです。弁護士が、市民にとって身近な存在になることが一番大事です。市民がこの番号に電話をすれば弁護士にアクセスできるという弁護士110番を作ることなどを考えています。市民との距離が縮まれば、需要の掘り起こしになり弁護士の仕事も増えるでしょう。市民にとっても弁護士にとってもプラスになります。

若手のための政策は？

A：若手のために、どのような政策を考えていますか？

山本：①広報活動の拡大、②若手の会費の減免、③法律相談の若手への配分を増やす、④法テラスの事件報酬の引き上げ、⑤女性の権利の拡大を考えています。

特に、①広報活動の拡大は、テレビ・新聞を含めた大々的な広報を実施したいと考えています。市民に身近な弁護士になるためには、まず市民に弁護士を知ってもらうことが重要です。

法曹人口問題はどうするの？

B：広報の充実で仕事が増えたり、会費が減免されるのは助かりますが、若手の中には、合格者数の減少が唯一の解決策ではないかとの意見もあります。先生はどうお考えですか？

山本：私は、司法改革路線自体は間違っていないし、社会への貢献も大きかったと思っています。例えば、裁判員制度の実施により、多くの市民が刑事裁判に関心を持ち、市民と司法との距離が近づいています。

ただ、法曹人口の増加は、急ぎすぎて受け入れ体制が整わないまま進めてしまい、様々なひずみが生じています。

年間3000人という目標は見直す必要があると思っています。今の合格者（年間2000人程度）よりも少なくする方向を検討する必要もあると考えています。

修習を終えても就職先が無く、ソク独せざるを得ない状況は非常に問題です。国家権力に立ち向かう「在野精神」や「弁護士魂」を次世代に伝承できるのは、基本的にイソ弁システムだと思っています。望んでもイソ弁になれない若手がいる状況はすぐに改善しなければなりません。

もっと言えば、選挙の度に法曹人口が争点になる現状を打破したいです。この問題は早々に解決できる問題ですし、解決しなければならない問題です。

A：若手の中に独創的と思える活動をし始めた人がいます。先輩から見れば顔をしかめたくようなこともあるのではないでしょうか？

山本：若手が自ら道を切り開いていくときに不合理な妨げは取り除きたいと思っています。しかし、弁護士自治を危うくするので、市民に誤解や被害をもたらすおそれがないような活動をしてほしいと思います。

若手の開拓精神を大事にし、刺激するような施策も考えています。これまでの司法改革では人口増を支える基盤作りが不十分でした。それに取り組むことも必要です。

「蒼天已死」なんかじゃない！！

A：若手へのメッセージをお願いします。

山本：日本社会の中の大きな存在として、世界的な規模で活躍できる職業人を目指してほしいと思います。そうなることが社会からも期待されています。今は大変な時期ですが、一緒に力を合わせてよりよい弁護士会を作りたいです。

「蒼天已死」なんかじゃない！！若手の頭上には無限の蒼天が広がっている！！と声を大にして言いたいです。

AB：お忙しい中、ありがとうございました。

発信元

東京都港区虎ノ門1-1-12 虎ノ門ビル7階

新時代の司法と日弁連を担う会事務所内

「新時代の司法を担う若手の会」事務局

TEL03-3500-5780 / FAX 03-3500-5840

「若手の会」メーリングリストに参加し、若手の声を提言しよう！

「若手の会」では、メーリングリストにおいて、日弁連の将来につき提言するため、広くオープンな議論を募っています。参加ご希望の方はs-akashii@akashilaw.jpまで「若手の会ML参加希望」というタイトルでメールをご送信下さい。なお、新時代の会のHPにアクセスすると、若手会員から山本代表世話人へのインタビューや東弁の若手会員との意見交換会の様子を動画で見ることができます。以下のHPへアクセスして下さい。

<http://www.shiniidai.info/>